

# タットン会 通信

2007. 2. 17

- ◎ タットン会ホームページ **タットン会** と入力すると検索でき、会の趣旨や開催日時などが確認できます。皆様からの掲示板コメントもお待ちしております。  
 日時・場所についての確認のみは → ボランティアセンター 046 (825) 0017 へ  
 (1月の参加費は、5400円、寄付金は、1780円 計、7180円でした。)

2007年のスタート53回目のタットン会は、初参加ボランティアさん3名を含め県立大学の体育館がところ狭しの状況でした。卓球の部では、盲人用卓球台を含め11台を出しながらも1台を4人で行っていたグループがいくつもありました。

このメンバーの中に、今年度が最後の桜台中卓球同好会仲間が10名前後おりました。毎回、そのチャレンジャーの引率を続けてくださっている顧問の先生には、本当に頭が下がります。卒業生を含め10数人いるメンバーの保護者代理の引率と考えるとなかなか真似の出来ることではありません！



後半のバドミントン、笑い声の方に行ってみると事務局員『大切なこと係の孝さん』とチャレンジャー美香さん、そして初参加ボラのやなぎださんが打ち合いをしていました。孝さんは、いつもみんなが安全に行えているかどうかと見守っていて下さることが多いのですが、この日は美香さんに誘われ～動かされていた？状況を見ての笑いでした。とっても温かくファミリー的な場面でした。

夜の新年会(年度末反省会)では、毎回お世話になってしまう『吾妻庵』(おそば屋さんですが、とってもおいしいご馳走を出して下さいます)で18:30～23時までビッシリと反省？をさせていただきました。

(いつも時間をオーバーして申し訳ありませんです)

内容は1. 自己紹介 2. 年度途中会計 3. 年間反省(会費の必要性・グルーピング・改善点・消耗品の確認) 4. タットン大会について 5. 2007年度年間活動計画について 6. のたろんフェア参加について～と多くの課題に取り組みましたが、私最後のほうには記憶が飛んでしまいでここまで反省できたのか…定かではありません…お許し下さい！(反省！反省！！反省!!!)。しかし毎回思いますが、なんと温かいメンバーの集まりなのでしょう！？ 実に大きな宝物です！

**年度途中会計のお知らせ** 今年度から、チャレンジャー1家族につき、3000円の参加費を徴収することになりましたが、その途中会計を出してみました。12月までの集計では収入(参加費・募金)が41,947円 支出が39,810円です。今年度3月までの支出に関しては、施設設備費・消耗品(ラケット・シャトル等)やタットン大会賞品も購入予定です。そのため、**今後も参加費は徴収していく予定です!!**

**感想・参加者カード・気がついたこと!!!**

- ※1 初めてのタットン会と何十年ぶりに持ったバドミントンのラケットで、不安とドキドキの気持ちでした。しかし、M香さんが親切に教えてくれたり、そばにいてくれたのでとても楽しく過ごすことが出来ました～。サーブが出来ない私に『身体を真っ直ぐにすれば平気だから』『大丈夫、大丈夫』と励ましてくれました～。(Y・A様)
- ※2 久しぶりにラケットを握りました。卓球にたくさんのチャレンジャーさんが来ていて、活気にあふれていました。井上君も久しぶりに来て、本当に楽しそうでした。一人ひとりにまで目・手が行き届かなくて申し訳なかったです。広い体育館・たくさんの台、本当に有難いと思います。若いボランティアさんも多くて、来るたびに思うことですが本当に素敵な会ですね!! (H母様)

※3 いつも疲れて途中の休憩が多いのですが、休みを取りながら今日はラリーが19回続きました。後半は座ったまま打ち合いました。～それだけでも運動になりました。(I・E様)

※4 ラリーは26回続きました。試合には加われませんでした。後半少し前まで集中できました。後半になってから集中力がなくなり、ラリーの途中で抜け出してしまうのを少なくしたいです。飽きると『ブー』という言葉で『いや』ということを表示できます。言葉での表現が多くなりました。(W・T様)

※5 ラケットの握り方から、転がし卓球をやりました。シェークハンドなのでフォアとバックの色の区別をつけて、右に来たときは黒・左に来たときは赤ということ徹底しました。～ラケットの持ち方を時々注意しないと自己流になります(握手をするような感じでもちましよう)～模倣が上手いので見せてやるとあげると良いです。(E・Y様)

※6 今日はお友達がなくてやる気が少しありませんでした。が、友達がなくてもやらなければいけないことをきちんと理解し、後半は自ら進んでしていました。勝ち負けに興味があるので、一球ずつ『今のは〇〇の勝ち～』と言ってあげると集中して取り組めるようです。(H・T様)

～ すべてを載せられずごめんなさい ～ (チャレンジャー参加者29名)



## 進路と余暇を考える

～パート15～

進路と余暇について語れるような立場ではありませんが、タットン会に参加して感じたことを書かせていただきます。

タットン会で幾度となく、周りの子とぶつからないように配慮するチャレンジャーさんたちを見てきました。ちょっとタットン会には狭くなってきた体育館ですが、自然と周りに気遣いのできる心が養われていくという副産物もあるのかなと思っています。周りのことを考えられることが、社会に出ていく上でもっとも大切なのではないかとと思うので、タットン会は遊びながらも、そのような心を養える場になっていると感じます。

わりと若いボラさんの多いタットン会ですが、ボラさん・チャレンジャーさんが本当になんの壁もなく、お互いに楽しんでいる光景をいつも拝見しています。ボランティアをしに来ているという感覚のない、小さいボラさんもいます。障がいのある人もない人も同じ場所に当たり前と一緒にいて、当たり前を楽しむという環境がタットン会にはあります。小さな会ではありますが、世の中が自然に障がいのある方を受け入れ、共に生活していくための大切な土台作りとなっていると思います。大きなことを言うようですが、世の中の全ての小さい子や若い子たちが、障がいのある子たちと一緒に楽しむことが当たり前になったら、全ての人にとって社会参加しやすい世の中になると思います。タットン会は、この大きな目標に向かってお手伝いができる会です。

県立保健福祉大学 浜島貴子

### 第54回タットン会 本日 2月17日の流れ 於 県立保健福祉大

8:30 ～ 準備 (次回メインアリーナ 3月24日は 8:00から準備が出来ます)

9:00 受付開始

9:30 本日の説明 ペアになって、カード読み・聞き取り  
自己紹介・握手をしよう!  
体操(ディズニーorラジオ体操)、  
各種目へ(持続回数に挑戦など)

10:20 休憩 (けん玉で遊ぼう!?)

10:40～ 後半競技～(試合形式に挑戦)

11:10頃 パラシュート!

11:20頃 片づけ・モップ、感想カード記入(手話コーナー)・けがの確認 11:40頃 解散



### 《今年度の予定》

2007年

54回目 2/17土(県立保健福祉大学 本日)

55回目 3/24土(メインアリーナ決定)「タットン大会」開催

2007年度は 5月からの予定です

### 本日の担当者

チーフ:佐々木悠 準備指示:県大生と事務局

継続受付:林美佐子 新規受付:浅羽純子

新規説明:鈴木孝芳

全てのサポート:県立大学事務局メンバー